

林業普及現地情報  
2015-23号(通算274号)  
平成27年12月11日  
県北広域振興局林務部  
記述者 佐藤 一哉

## 天然アカマツ林における森林経営計画の作成支援について

地域の森林を効率的、計画的に整備するため森林経営計画の作成が求められているものの、管内の林業事業者は森林経営計画の作成や変更の対応に不慣れな状況にあります。

そこで、地域けん引型林業経営体として森林経営計画作成に意欲を示している「有限会社丸大県北農林」(以下「丸大」)に対して、天然アカマツ林の更新伐指導など、計画作成や補助事業を活用した着実な事業実施の支援を行い、計画的・効率的な森林整備を進めることができたので報告します。



【計画作成・変更の検討、指導】

### 1 計画作成・変更の指導

丸大では天然アカマツ林の更新伐を計画していましたが、森林簿上で人工林となっていたことや更新伐の経験がないことから、同行して現地調査を行い、アカマツ林の現況及び下層の高木性広葉樹の植生状況調査を行いました。そして、認定基準を満たしながら天然アカマツ林の更新伐を最大限実施できるような計画作成を指導し、計画を作成することができました。

また、丸大が平成25年度に作成した林班計画に隣接地を追加し、区域計画として変更するよう森林情報の提供や計画変更の助言を行い、計画を追加変更することができました。

### 2 計画実行の支援

計画の着実な実行を進めるために、「森林整備加速化・林業再生基金(交付金)事業」の活用を提案し、その結果、間伐68ha(55ha実施中、13ha追加予定)の実施に繋がりました。

また、平成27年度新規事業である「花粉症発生源対策促進事業」による伐採から再造林までの一貫作業の実施と、「森林整備事業」を活用して、下刈、更新伐を着実に実施しています。



【手前が間伐実施中、奥側がこれから実施】

### 3 今後の支援について

現在、丸大は、更に2地域(区域)の森林経営計画の作成に向けて森林所有者交渉を進めています。引続き集約化への支援や事業の情報提供を行うなど、計画作成と実行管理の支援に継続して取り組んでいきます。